

令和 2 年度第 1 回常任委員会議事要旨

日時	令和 2 年 6 月 8 日（月）午後 6 時から
場所	県民総合運動公園陸上競技場内 1 階会議室 1 1 4
出席者	山本・齋藤・住吉・山田・西島・内山（理事 6 名） 永田・太田黒（事務局 2 名）
会 議 内 容	
1 開会 2 あいさつ 山本副会長 3 議長選出 齋藤理事長 4 報 告 （1）令和 2 年度本協議会加入クラブについて ・中央ブロック「NPO 法人とみあい総合型クラブ」が追加加入した旨報告。 （2）令和 2 年度事業計画について （3）令和 2 年度予算について ・令和 2 年度事業計画及び予算について一括して説明。 ・昨年度第 4 回理事会で承認を得た内容から、新型コロナウイルスの影響により会議日程等が変更となっていることや、中止となった事業などを報告した。 （4）総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度について ・事務局より、4 月 3 日付け日本スポーツ協会から送られてきた資料について説明。 （5）新型コロナウイルス関連情報について ・SC 全国ネットワークより各都道府県協議会宛て調査があった内容について報告。全国的に新型コロナウイルスの影響がある状況であり、さらに本県で県スポーツ協会が調査した内容についても報告した。 5 議 事 （1）令和元年度（2019 年度）事業報告について （2）令和元年度（2019 年度）決算報告について ・令和元年度事業報告及び決算報告について一括して説明。 ・承認。 （3）令和 2・3 年度役員（案）について ・各ブロック並びに県スポーツ協会、学識からそれぞれ推薦された役員案について説明。 ・長田会長について、県スポーツ協会の役員改選であることから、別の方が推薦される予定である旨説明。県スポーツ協会の評議員会が 12 日（金）であるため、そこで決定することから、19 日（金）の理事会にて正式に名前を入れて説明する旨補足。 —協議の結果— ・承認。 （4）令和 2 年度実施事業について ①県内クラブ交流大会及び子どもたちの交流事業について ・県内クラブ交流大会及び総合型地域スポーツクラブの PR 事業について、これまでプロジェクトチームを編成して実施する方向で準備を進めてきたが、今後の進め方について協議いただきたい旨説明。 ・県内クラブ交流大会について、現時点で実施内容が固まっていないことから、会場確保もできていない状況を説明。 ・10 月 25 日（日）県民スポーツの日について熊本県教委主催から協力依頼があり、さらに同日行われる予定の熊本市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会交流会について熊本市スポーツ振興課から共催での交流会実施も可能である旨相談があったことから、今年度の実施方法について協議いただきたい旨事務局より説明。 ・プロジェクトスタッフについて、NPO 法人クラブ南阿蘇の家入氏が退職、元気・夢クラブ所属だった脇坂氏が I・YOU スポーツ&カルチャークラブに移ったことから、スタッフについてどうするか協議いただきたい旨事務局より説明。	

—協議の結果—

- ・県内クラブ交流大会及びクラブ啓発については、10月25日に実施される県と市の事業に協力・連携する形で実施することを承認。

- ・内容について早めに話し合わなければいけないため、第2回理事会以降の会議を1か月ずつ前倒しにして実施するべきではないかとの意見あり。

②株式会社イトメンとの連携事業について

—協議の結果—

- ・今年度も昨年度同様に事業を実施することを承認。

③新型コロナウイルス感染症に関する事業について

- ・齋藤理事長より、本協議会から県内クラブへの支援として、クラウドファンディングを活用したアルコール消毒液等の購入費用の補助について企画提案。

- ・国が出している任意団体でも申請ができる補助金申請についても前向きに検討してはどうかとの意見あり。

—協議の結果—

- ・第1回理事会に提案し、承認されれば7月のReady For（クラウドファンディング）に申請することを承認。

(5) 中間支援組織の整備並びに登録・認証制度の導入に伴う本協議会の体制について

- ・中間支援組織の整備を行うにあたって、日本スポーツ協会は都道府県スポーツ協会の内部組織として都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を設置するという意向である旨説明。

- ・内部組織となった場合、これまでのように自主的な活動として行ってきたことが県スポーツ協会の裁量となるため、実施できにくくなることなどを踏まえ、今後どのような体制が望ましいか意見をいただきたい旨説明。

—協議の結果—

- ・これまでどおり、本協議会はネットワーク組織として活動し続け、新たに県スポーツ協会の中に登録・認証制度導入のための協議会機能をもつということが理想的であるとの意見となった。理事会でも協議し、県スポーツ協会並びに県教委とも協議していく必要がある。

6 その他

(1) NPO 法人 A-life なんかんより情報提供及び依頼について

- ・スポーツ庁委託事業「障害者スポーツコンソーシアム」への協力について、山田理事より依頼。協力団体に本協議会が入る旨説明し、委員として、齋藤理事長と事務局から参加することについて説明した。

(2) 他県の取組について

- ・滋賀県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、徳島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の新型コロナウイルス後の取組について紹介。

7 閉 会

